

岐阜県の教諭と交流

高校会議所 探究学習に関心



メンバーが郡上高教諭と意見交換(提供写真)

富士宮高校会議所はこのほど、岐阜県立郡上高校で探究学習を担当する教諭4人の訪問を受け、西町レトロ館で交流会を行った。

高校会議所メンバーは、力を入れているSDGs実践活動として「マスマス元肥(げんぴ)」を使って、富士宮をマスマス元気に!

「アート(音楽・絵画)を通して、富士宮を元気に!」「ベビーカー・チャイルドシートの2RSリユース・リサイクルで持続可能な社会を目指す」の三つのプロジェクトを発表し、時田定則事務局長が設立からの歩みを説明するなどして、教諭らの関心を集めた。意見交換では、質問を受けながら高校会議所への参加のきっかけや異なる高校の生徒と一緒に活動する楽しさなどを伝えた。主催事業の各種コンテストへの応募や、全国組織の日本高校会議所の参加を呼び掛けた。